

須賀川市立義務教育学校「稲田学園」令和3年度学園だより

とう 雲 稲 雲

第21号

令和4年3月16日発行

発行者：校長 小貴 崇明



○義務教育学校・稲田学園の記念すべき第1回卒業式

3月11日（金）、義務教育学校・稲田学園の記念すべき第1回卒業証書授与式を挙行いたしました。感染症拡大防止のためご来賓を限定したり、内容を精選したりした式となりましたが、厳粛な雰囲気の中にも全員が感動する本当に素晴らしい式となりました。

短い練習期間ではありましたが、卒業生、在校生（7、8年生）ともに美しい式歌を披露してくれました。式の準備でも在校生と教職員一同が協力して行いました。全員で作り上げた稲田学園としての最初の卒業式となりました。



○「立志式」～7年生がめざす未来の自分像とは？～



3月2日（水）に「立志式」を行いました。立志式では、7年生が将来の決意や目標などを明らかにすることで大人になる自覚を深めることを目的としています。また、稲田学園では次年度に後期ブロックとなる7年生が、いよいよ進路決定に向けて心の準備をするという意味もあります。校長から立志証書を手渡され、生徒一人一人が

「笑顔が素敵な大人になりたい。」など、これからの自分の姿や目標とする大人としての生き方などについてしっかり決意を表明しました。

式の後半では、稲田小学校1年生から稲田学園7年生までを振り返るスライドを鑑賞しました。成長した7年生の姿を改めて実感することができました。



○震災から学ぶ会～受け継ぐべき教訓～

3月9日（水）に「震災から学ぶ会」を実施しました。まず、校長から、東日本大震災の教訓をもとに、自然災害に対する心構えについて話をしました。その後、各教室で防災学習動画を視聴し、防災への意識を高めました。震災当時には、まだ生まれていない子ども達も増えてきましたが、この福島に住む子ども達には、震災の教訓を伝えていかなければならないと改めて思う日になりました



○9年生を送る会

卒業式を4日後に控える3月7日（月）、
「9年生を送る会」を開催しました。参加者
を後期課程7～9年生に限定し、感染症対策
を徹底して実施しました。コロナ禍で活動時
間の制限や内容の制約がある中、実行委員の
生徒がシルエットクイズやスライドショー、心のこもったプレゼントなど短時間でも様々な工夫を取り入れた企画を進めると、9年生全員からたくさんの笑顔があふれ、後期課程の生徒たちにとって思い出に残る会になりました。



○6年生「スポーツ集会」&「全員でフルマラソン」



前期課程修了式を前に、6年生たちがお世話になった先生方とスポーツを楽しむ企画「スポーツ集会」を3月9日（水）に実施しました。バスケットボール、卓球、バドミントンに分かれてゲームを楽しみました。ポイントするたびに歓声上がるなど、各競技とも盛り上がっていました。その後、6年生たちから先生方にこれまでの感謝の手紙が渡されました。心にしみる手紙に思わず涙腺が緩みました（校長）。

また、3月15日（火）には、稲田学園伝統の「6年生全員でフルマラソン」を行いました。1周200mのトラックを211回リレーして走ることによって42.195kmを走り切るという企画で、6年生だけでなく校長はじめ教職員も参加して、校庭は和気あいあいとした雰囲気でした。最後は、1年生から5年生が校庭に応援に来てくれて、6年生の力強い走りに声援を送っていました。最終の211周目は、6年生全員で走り抜き、ゴールの喜びを分かち合っていました。完走にかかった時間は2時間47分と立派なタイムでした。



★言葉と生きる(21)「あなたの通う稲田学園ってどんな学校？」

9年生28人全員の進学先が決定しました。合格を勝ち取った皆さん、本当におめでとう！ところで、受験を前に9年生の面接指導をしましたが、志望理由や将来就きたい職業等の定番の質問の他、「座右の銘は？」とか「最近の気になるニュースは？」のような質問にも答えられる9年生に感動しました。そして、何人かに「稲田学園ってどんな学校？」という質問をしたところ、「1年生などの小さな子を中学生が面倒みるようなみんなが優しい学校」と答えた生徒がいました。「小学生と中学生と一緒にやる行事がいろいろあって楽しい学校」や「いなだあいさつといって元気のいいあいさつができる学校」という生徒もいました。自分の学校の良いところ、誇れるところを素直な言葉で表現してもらって本当にうれしくなりました。

児童生徒はもちろん、保護者や地域の皆さんにとって誇れる学校になれるように令和4年度も教職員一同がんばります！この1年『稲雲』をご愛読いただきありがとうございました。